



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	明治二五年
Citation	北大百年史, 史料(二), 245-271
Issue Date	1981-07-30
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/30070
Type	departmental bulletin paper
File Information	siryo2_p245-271.pdf



明治二五年

七八七 教官俸給に付請議

法制局^一勅第二号

辰機一〇三号

札幌農学校教官俸給之儀ハ他ノ当省直轄諸学校ト等シク授業ノ時間及学科ノ輕重難易等ニ依リ年俸減給ヲ要スル場合有之候就テハ其必要ニ依リ年俸相当ノ額ヲ減給シ得ル様致度依テ別紙勅令案ヲ具シ請閣議候也

明治二十五年二月十六日

文部大臣伯爵大木喬任

印

内閣総理大臣伯爵松方正義殿

〔別紙〕

勅令案

朕茲ニ札幌農学校教官俸給ノ件ヲ裁可ス

御名 御璽

〔朱書〕
明治廿五年「三」月「二」日

総理大臣

文部大臣

勅令第「二十」号

札幌農学校教官ノ俸給ハ其授業ノ時間及学科ノ輕重難易等ニ依リ年俸等級相当ノ額ヲ減給スルコトヲ得

〔公文類聚一六一一〇〕

七八八 学芸会の演武場借用願に付伺

第一三六号

校長心得^印〔佐藤〕宮部教授^印南教授^印書記井上小四郎^印庶務係^印〔小関〕舎監心得^印〔大嶋〕会計係^印〔新井〕^印〔寛治〕

学芸会々頭ヨリ願出之義ニ付伺

予科生徒ノ設立ニ係ル学芸会ヨリ毎月一回第一土曜日午後ヲ以テ演説若クハ討論会相開キ候ニ付テハ適當之場所無之候間本校演武場其都度借用致度旨別紙之通願出候右ハ学芸上之裨益ニモ相成候義ニ付御聽許相成可然哉且明九日ハ其発会式同場ニ於テ挙行シ併セテ別記之品物等拝借願出候是亦御聞届相成可然哉此段相伺候也

四月八日

〔別紙一〕

御願

今般学芸会ナルモノヲ設立致シ毎月一回第一土曜日午後ヲ以テ演説若クハ討論会相催度候間其都度〔^{本月丈ハ第二土曜日}ヲ以テ開会式ヲ挙グ〕演武場御拝借被成下度規則書相添奉願候以上

明治二十五年四月六日

学芸会々頭新渡戸稲造^印

札幌農学校長心得佐藤昌介殿

〔別紙〕

御 願

来る九日午後二時より御校演武場於て弊会開会式挙行致候間左之物品拝借仕度若し破損紛失之節御相当之辨償可致候間此段御願申上候也

日章^{〔朱書〕}「五」

椅子^{〔朱書〕}「四十」

ブリガム教師教室暖炉

四月八日

学芸会幹事

印

札幌農学校長心得佐藤昌介殿

〔農九〇一〕

七八九 演農会設立願に付伺

第一六六号

校長心得^印(佐藤)

書記井上小四郎^印

庶務係^印(小関)

演農会設立願之義ニ付伺

本科学生^{四年生}
ヲ除ク一同ヨリ本年八月開会共進会ニ平常講習セシ学理及実業ヲ公示スル為メ演農会ヲ設置シ其事務所ヲ寄宿舎内ニ設ケタキ旨別紙之通り願出候右ハ公衆之裨益ニモ可相成学生ニ於テモ学理及

実業上ニモ攻究ニモ可相成且会事務所之如キモ他所ニ設ケ候テハ不便ナルノミナラズ相当之場所無之不得止義ニ付願意御聽許相成可然哉此段相伺候也

五月十六日

〔別紙〕

願 書

生等今般札幌農学校学生演農会ヲ設置仕候間御許可相成度此段規則書相添ヘ奉願上候也

札幌農学校農学科第一、二、三年生総代伊藤広幾^印

明治廿五年五月十六日

札幌農学校長心得佐藤昌介殿

札幌農学校学生演農会規則

第一条 本会ハ札幌農学校学生演農会ト称ス

第二条 本会ヲ札幌農学校寄宿舎内ニ置ク

第三条 本会之目的ハ本年八月北海道物産共進会開会ニ際シ学生平

常講習スル学理及実業ヲ公示スルニアリ

第四条 会員ヲ左之二種トス

賛助会員 通常会員

賛助会員ハ農学校教官及同窓会員トス

通常會員ハ農学校学生トス

第五條 役員ヲ定ムル左之如シ

会頭 一名

評議員 五名

幹事長 一名

幹事 拾二名

会頭及評議員ハ賛助會員ヨリ推撰ス

幹事長及幹事ハ通常會員ヨリ互撰ス

第六條 本会之目的ヲ達スルカ為メ左ノ事項ヲ舉行ス

第一 試作場設置

第二 農具機械ノ使用

第三 幻燈

〔農九〇一〕

七九〇 高知県立農学校卒業生の農芸伝習科入学に關し依頼

乙第一〇巻号

高知県立農学校ハ明治廿三年ノ創設ニシテ校則ハ別紙之通リニ有之

候処本校卒業生ニシテ御校農芸伝習科生ニ入学志願之者ハ試験ヲ要

セス校費生トシテ特別入学御允許ヲ得セシメラレル様致度来ル七月

ニ於テ卒業スヘキモノ有之候ニ付テハ有為ノ見込ミアル者ニシテ此

儘放校致候ハ遺憾ニ不堪幸ニ前意御許容ノ栄ヲ得ハ奨励上最モ好都合ヲ得ヘント存候間特例ヲ以テ此段御採容被成下度只管上願候也

明治廿五年六月廿二日 高知県農学校長牛村一氏 印

北海道札幌農学校長佐藤昌介殿

〔注〕 別紙を略す。

〔農四四七〕

七九一 屯田兵予備下士官入学取止の旨通知

第八一四号

毎年札幌農学校江入学為致候屯田兵予備下士之義予備士官補充之都合有之本年度限り見合候事ニ相成候条右様御承知相成度此段及御通牒候也

明治廿五年七月十九日

屯田兵司令官代理屯田兵副司令官家村住義

北海道庁長官渡辺千秋殿

追而三輪中尉教授囑託此際御解囑相成候共当部ニ於テハ差支無之ニ付申添候也

〔農九〇三〕

七九二 ミルトン・ヘート雇満期帰国に付物品贈与方上請

(七月二九日)

学第二八号

ミルトン・ヘート御贈与品之義御上請案

本校雇教師北米加奈太人ミルトン・ヘート義来ル八月三十日雇満期ニ付帰国可致之処同人義ハ明治二十一年一月理学及数学教師トシテ聘用已来満四ヶ年余ノ間励精其職務ヲ尽シ誠意学生ヲ薫陶シ学業ノ進歩ヲ謀ル等功勞不尠候ニ付テハ此際特議ヲ以テ相当之物品御贈与相成候様仕度此段上請仕候也

追テ御贈与相成候物品代価金百五十円ハ本校本年度經費予算内ニ有之候右添申候也

年 月 「二九」日

校長心得

長官宛

付 ミルトン・ヘート服務事績

服務事蹟

北米加奈太人 ミルトン・ヘート

明治廿一年一月物理学高等数学及英語之教師トシ聘傭セシ已来善ク職務ニ励精シ誠意学生ヲ薫陶セシヲ以テ学生亦其懇篤ナル誘掖ニ感

奮敬服シ就中師弟ノ間親睦ニシテ一点之隔意ナク一意其課業ニ勤勉セリ客年一月雇満期之処更ニ本年八月迄雇続キ専ラ右三学科ヲ受持チ学生ヲ教訓シ客年九月ヨリ予科第五年級生徒ニ特ニ英語及数学ヲ受持タシメタリ然ルニ該教師ノ懇切ナル薫陶ニヨリ生徒ノ兩科ニ於テ著シク進歩ノ微ヲ見ルニ足レリ其雇期限ハ前後合セテ四ヶ年半余ナルモ欠勤之數僅ニ一兩日ニシテ終始一日ノ如ク善ク職務ニ勉勵セリト云フヘシ

〔農四四七〕

七九三 本科卒業生採用に付上申

号外

本科卒業生採用之義ニ付上申案伺

本校卒業生任用之節ハ是迄俸給參拾五円已上ニ於テ御採用相成居候処客歲十月官吏任用之義ニ付内訓有之判任官始メテ任用之節ハ俸給貳十五円已下ヲ以テ採用之事ニ相成候然ルニ本校卒業生ハ數年間各其専門之學術ヲ研究シテ卒業候者ニ付學術及経歴上ニ於テ一般之官吏ト同様ノ取扱ヲ以テ任用相成候テハ權衡上其當を得サルノ儀も有之且農商務省ニ於テ農科大学卒業生ヲ任用セラル、トキハ右ノ内訓ニ抛ラス俸給貳十五円已上參拾五円迄ヲ以テ採用相成居候趣キ伝承仕候就テハ道庁ニ於テも本校卒業生御任用之節ハ内訓ニヨラズ特例

同	同	同	同	同	同	同	明治 廿四年七月	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
高知	東京	島根	札幌	同上	空知	宮崎	福島	東京	札幌	山口	宮城	青森	札幌	不詳	愛媛	新潟	東京
農学校教諭	帝国大学院	尋常中学校教諭	北海道庁技手	兼札幌農学校助教授	空知農場主任	尋常中学校教諭	尋常中学校教諭	不詳	北海道庁技手	農業	私立学校教員	尋常師範学校教諭	札幌農学校研究生	不詳	尋常師範学校教諭	永岡実業学校教頭	帝国大学
死去																	札幌農学校研究生
北海道	同上	東京	島根	北海道	鹿児島	北海道	岐阜	山口	福井	岩手	山口	福島	愛媛	群馬	北海道	同上	石川
秋山長俊	長崎常	藤田経信	中村鉄太郎	今村猛雄	横山壮次郎	長屋平太郎	田付辛喜知	高林甲子郎	和田太吉	藤根吉春	清水郁藏	鈴木近吉	池内徳孝	星野和太郎	宮崎太郎	荒井寅治	工科 平野他喜松

[illegible]

[illegible]

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
胆振国勇払郡苫小牧村	後志国小樽郡 (支) 釧路郡川上郡	石狩国札幌区	釧路国釧路郡真竜村	死亡	渡島国亀田郡七飯村	釧路国釧路郡鳥取村	石狩国札幌区	同国樺戸郡月形村	不詳	後志国小樽郡稲穂町	同	同	同	同	同	同
郵便電信局雇	雜業 北海道集治監釧路分監雇	獸医兼蹄鉄工	農業	七重種畜場雇	農業(耕作反別三町步余)	北海道庁地理課雇	北海道庁地理課雇	海貨直常農場雇	不詳	不詳	不詳	毛利元徳開墾地担当(既墾地拾町三反歩)	開墾(既墾地二反歩余)	御料局札幌支庁雇	石狩国札幌区	明治廿三年三月十一日
從二運藏	佐々木新兵衛	國分茂八	高橋莊治	入江幸太郎	徳力十次郎	松本竹三郎	野村実太郎	山本金造	阿部常次郎	木村淺藏	周田弥一	宮島飢次郎	△毛利倭	永倉袈裟太郎	小田代源太郎	同
同	同	同	同	同	同	千葉県同	北海道同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
札幌区	宮城県	石狩国夕張郡長沼村	同国空知郡	胆振国有珠郡紋鼈村	日高国浦河郡荻伏村	東京	北見国宗谷郡稚内村	後志国岩内郡前田村	不詳	渡島国松前郡福山村	天塩国留萌郡留萌村	渡島国上磯郡上磯村	同国檜山郡上国村	後志国美国郡美国村	渡島国茅部郡森村	後志国寿都郡樽岸村
獸医兼蹄鉄工	不詳	平田開墾地農場長(既墾地三拾余町步)	養蚕業	農業	赤心社雇	不詳	雜業	農業	不詳	御料局札幌支庁雇	電信局雇	農業(耕作反別五町五反歩)	御料局札幌支庁雇	同	農業(耕作反別二町步)	同(耕作反別八反五畝)
役場筆生	江別外二ヶ村戸長	村岸三郎	山田為三	和賀金次郎	大磯仁太郎	小川為一	安藤円次郎	斎藤条太	上野玄生	夏堀初次郎	雨夜金次郎	茂木虎徹	小河亀次郎	和久山五郎	大堀信治	佐藤牧太郎
篠田繁太郎	家喜利惣右衛門	松本松三郎	松本松三郎	松本松三郎	松本松三郎	松本松三郎	松本松三郎	松本松三郎	松本松三郎	松本松三郎	松本松三郎	松本松三郎	松本松三郎	松本松三郎	松本松三郎	松本松三郎

[illegible]

合計一百十四名 内死亡二名 △印ハ私費生ナリ

計八十八 外二十四名不詳 貳名死亡

二十五年九月三十日調ノモノ

〔注〕別紙中子科卒業生調及び農芸伝習科現在生調を略す。

〔農四四八〕

府県別	卒業年月	就職ノ場所	就職ノ種類	姓名
北海道	明治二十三年八月	屯田歩兵第三大隊	陸軍屯田歩兵少尉	小幡 彬
山口	同	第二大隊	同	大塚 嘉輝
福岡	同	第三大隊	同	菊池 直人
東京	同	上	依病免官	石川亥三男
宮崎	同	第一大隊	陸軍屯田歩兵少尉	龍岡 六郎
埼玉	同	第四大隊	見習士官	新井松四郎
福岡	同	第四大隊	陸軍屯田歩兵少尉	浜田見長太
秋田	同	上	同	上野左司馬

七九五 兵学科別課卒業生調等送付の件（二〇月二二日起案）

校第一九七号

別課卒業生調及其他送付之件

校第一九三号追伸ヲ以テ申進候ニ付兵学科別課卒業生及半途退校生
調別冊及御送付候也

年
月
日

校名

内務部宛

別紙

兵学科別課卒業生調

茨城	明治二十三年八月	屯田歩兵第二大隊	陸軍屯田歩兵少尉	難波田憲欽	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	
----	----------	----------	----------	-------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	--

同	上	上	屯田歩兵第四大
同	隊	第一中隊	同
			上
			天野孝太郎

合計四拾貳名

〔注〕 半途退校生調を略す。

〔農四四八〕

七九六 学生生徒御真影拝賀に付回答

第八八二号

校第二一一号御照会貴校学生生徒御真影拝賀ノ件ハ差支無之候長官ノ命ニ依リ此段及御答候也

明治廿五年十一月二日

長官々房印

札幌農学校御中

付 学生生徒御真影拝賀に付照会

校第二一一号

長官々房へ照会案伺

明三日貴庁拝賀式相済候後本校学生々徒ニ御真影拝賀為致度候条右御取計相成度此段及御照会候也

十一月二日

校 名

長官々房御中

〔農四四七〕

七九七 屯田兵下士官養成に関する官制条文削除に付回答

御回答案伺

昨十七日付ヲ以テ本校官制第一条后段削除之義ニ付御照会之趣了承右官制改正之義ハ曩ニ屯田兵司令部ヨリ屯田兵予備下士養成之義ハ自今各隊ニ於テ養成スヘキ旨照会有一之候ニ付本校官制第一条后段ハ全ク不必要ノ姿ニ相成候間此際全体ヲ削除相成候方可然トノ考ニ有之候処陸軍省ニ於テ各隊ニ於テ養成之義ハ目下其運ヒニ至リ難キニ付暫ク従来通ニ据置キ度トノ意見ニ有之候ハ、別ニ差向官制改正之必要無之ト被為存候間御内申相成居候官制第一条削除之義ハ一先撤去相成候様致度此段及御答候也

二十五年十一月十八日

校長名

内務部長宛

追テ御差回相成候書類御返却置候

付 官制第一条後段削除に付照会

貴校官制第一条後段削除之義ニ付テハ嚮キニ内務大臣へ内申致置候次第モ有之候処今回別紙之通文部大臣秘書官ヨリ照会ニ付御意見承

知致度此段及御照会候也

廿五年十一月十七日

佐藤札幌農学校心得殿

追而別紙ハ御回答之節御返戻相成度候

〔注〕 別紙を欠く。

鈴木内務部長 印

〔農四四〇〕

七九八 明治二四年景況報告

校第一九号

本校報告書之義ニ付伺

訓第二百四号ニヨリ本校客歳中ノ景況別紙之通り調製候ニ付此段報告ニ及候也

二十五年十二月一日

札幌農学校

北海道庁長官々房御中

〔別紙〕

札幌農学校二十四年一月一日ヨリ
同年十二月三十一日マデ諸法令ノ發布

明治二十四年一月勅令第六号ヲ以テ札幌農学校官制中第一条第二項本校ハ当分生徒中ヨリ屯田兵士官出身志願者ヲ選ヒ屯田兵士官ニ要スル軍事上ノ學術技芸ヲ教授シ又屯田兵予備下士ニ屯田兵予備將校ニ要スル軍事上ノ學術技芸ヲ教授シ第七第八第九条及第十条ニ於テ

助教訓導舎監書記ノ定員ヲ定メラル同四月勅令第四十一号ヲ以テ札幌農学校ノ教官ハ授業ノ時間及学科ノ難易ニヨリ明治十九年勅令第六号高等官々等俸給令官等相等俸給已下ノ額ヲ支給スルコトヲ得ル旨ヲ發布セラル同七月勅令第四百四十二号ヲ以テ札幌農学校官制ヲ改正セラル其ノ改正ノ要旨ハ第二条ニ於テ学校長一人奏任教授八人奏任助教教授十人判任舎監專任一人奏任書記六人判任技手六人判任卜定員ヲ定メラレ第八条ニ於テ北海道庁長官ハ校務上ノ須要ニ依リ文部大臣ノ許可ヲ得テ教官ノ外々國教師ヲ雇入ル、コトヲ得又学校長ハ北海道庁長官ノ許可ヲ得テ俸給予算額内ニ於テ講師ヲ囑託シ又ハ雇員ヲ使用スルコトヲ得ト明示セラレ第九条ニ於テ北海道庁長官ハ校務上ノ須要ニ依リ商議委員會ヲ設クルコトアルヘシ其委員ハ北海道庁長官之ニ命ストノ制ヲ定メラル同月勅令第四百十三号ヲ以テ学校長及舎監ノ年俸ヲ定メラル同十二月勅令第二百十五号ニ於テ校長已下高等官々職等級ヲ定メラル

校員

本校々員ノ異動ヲ挙クレハ曩ニ独逸國へ留学シ卒業ノ上帰朝セシ助教新渡戸稻造本年三月三十一日札幌農学校教授ニ陞叙シ同日書記ニ於テ非職ヲ命セラレタル者式名内彦名ハ即日舎監ヲ命セラレ又雇教員及雇員ニ於テ八名解雇セラル同五月二十一日非職北海道庁属ヨリ札幌農学校書記ニ転任セシモノ一名同七月二十二日札幌農学校教授

須藤義衛門農科大学助教兼札幌農学校教授ニ任セラル同八月十六日北海道庁理事官兼札幌農学校長橋口文蔵兼官ヲ免セラレ同日札幌農学校教授佐藤昌介札幌農学校長心得ヲ命セラレ農科大学助教兼札幌農学校教授須藤義衛門兼官ヲ免セラレ又舎監ヨリ書記ニ転任セシモノ一名及本校官制ノ改正ニヨリ助教ハ助教ニ訓導ハ技手ニ任セラル同月廿七日雇員老名死亡同九月三日雇員三名採用其年末現員ハ校長心得一名^{教授}ヨリ教授八名助教教授六名雇外国教師三名書記六名技手五名^{兼官}嘱託講師五名雇員三名トス

学生々徒

本科学生ノ本年中ニ於テ卒業セシモノ九名ニシテ内農学科七名工学科式名ナリ入学セシモノ拾五名ニシテ農学科十四名工学科一名内学力優等ニシテ校費生ヲ命セラレタルモノ農学科式名工学科老名又除名セシモノ農学科一名退学ヲ命セシモノ農学科一名工学科一名農学科ヨリ工学科ニ転科セシモノ一名ニシテ本年末ノ現員ハ計五拾八名内農学科四十五名工学科十三名又校費生ハ計式十七名ニシテ内農学科式十名工学科七名ナリ

兵学科別課生ノ現員ハ十八名ナリ之ハ本年一月改正ノ本校官制第一条第二項ニ基キ屯田兵司令部ノ照会ニヨリ屯田兵予備下士十八名ヲ本年五月中入学セシメ一ヶ年間軍事上ノ學術技芸ヲ教授ス
予科生徒ノ本年卒業セシ者十五名皆本科ニ入学セリ本年予科生徒ヲ

召募セシニ応募者百六十三名内合格セシ者五十三名ニ入学ヲ許可セリ又本年中病氣家事上ノ為メ退学セシモノ十九名除名セシモノ七名死亡セシモノ式名ニシテ本年末ノ現員ハ百七十三名ナリ之ヲ昨年末ニ比スレハ拾名ノ增多ナリ

農芸伝習科生徒ノ本年卒業セシモノ式拾参名又本年ノ召募ニ応セシモノ五十名内入学試験ニ及第セシモノ式十七名入学ヲ許可セリ内給費生式十式名自費生五名ナリ病氣或ハ犯則ニヨリ退校ヲ命シタルモノ六名ニシテ本年末ノ現員ハ四十七名内給費生三十八名自費生九名ナリ

農芸伝習科生徒授業ノ概略

(印)(簡)

本年中ノ授業ノ大要ヲ挙クレハ前期ニアリテハ主トシテ農園ノ耕圃ニ於テ実業ヲ取ラシメ反復実習シテ以テ大ニ生徒ノ熟達ヲ務メタリ且ツ又開墾ノ事業ハ将来本道ノ為メ最モ緊要ノ事タルヲ以テ六月生徒ヲタ張学田地ニ遣リ樹林地及ヒ草原等ノ開墾方法ヨリ開墾地創設ノ順序方法ヲ精密ニ実習セリ又タ日中一時間宛農業上最モ実地ト密接ノ関係ヲ有スル学理ヲ講習セリ後期ハ事業稍ヤ閑隙ナルニヨリ農業上必要ナル学科(一年級ハ午前二年級ハ午後)及ヒ農産物製造家畜家禽等ノ飼養農具組織其他諸般ノ実業(二年級ハ午前一年級ハ午後)ヲ教授ス而シテ前期ニ於テ式町余歩ノ耕作地ヲ生徒試作地トナ

シ内外各種ノ穀菽菜蔬ヲ蒐集シテ以テ其栽培ノ方法ヲ講明シ生徒ヲ
シテ実地耕作ニ従事セシム

本週年中ニ於テ授業ヲ了シタル実業及ヒ学科ハ左表ノ如シ

後期実業及ヒ学科表

第二 年 級		第一 年 級	
実 業	学 科	実 業	学 科
家畜飼養	牧 畜 論	家畜飼養	果樹栽培法
家禽飼養	農圃測量	農具組織	肥料論
農具組織	応用地質学	牛酪製造	排水及開墾法
煉乳製造	病畜治療法	耕牛馬使役	農具論
粉乳製造	蹄鉄法	苗床仕立及移植	化学原理
大麻製造	農業經濟	臨時野業	農用植物生理
亜麻製造	動物生理		植物耕種法
澱粉製造	肥料論及農場管理		土壤論
牛羊豚屠殺法			土地改良法
薰肉及塩肉製造法			植物病理
麵麴製造			排水及開墾法
農馬具修繕			
搾乳			

手 工

前期実業及学科表

第二 年 級		第一 年 級	
実 業	学 科	実 業	学 科
耕牛馬使役	害虫駆除法	耕牛馬使役	農用植物生理
農具使用	農場管理	農具使用	化学原理
家畜飼養	動物生理	家畜飼養	農具論
牛馬羊豚蕃殖	農圃測量	排水及開墾法	
養 蚕		乾 草 法	
搾乳		植物耕種法及收穫貯藏法	
果樹栽培法		苗床仕立及移植法	
接木法			
乾 草 法			
牛酪製造			
植物耕種法及收穫貯藏法			
味噌醬油製造			
「ヂヤム」及ヒ「セリ」製造			
果実糖藏及醸造法			

種用植物栽培
及ヒ收穫法

所屬農園

(印)(南)

第一 地積 本年中ハ別ニ異動ヲ生セサルヲ以テ地積ニ於テ掲記スルコトナシ

第二 氣候ノ大略 本年ハ春ヨリ初夏ニ至ル迄降雨少ナク冷風多キカ故氣候甚タ寒冷ニシテ大ニ作物ノ發育ヲ侵害セリ七月ニ至リ稍々温暖ニ復セシト雖トモ數々降雨アリ八月ニ至リ益々多キヲ加ヘ為メニ麦類ノ收穫ニ於テ大ニ困難ヲ來シ發芽セシモノ甚タ多シ只タ晩秋ノ收納ニ屬スル作物ハ此害ヲ凌駕スルヲ得タリ

第三 作物概況 麦類ハ小麦、大麦、ライ麦、裸麦、燕麦、ノ五種ニシテ其耕作反別ハ式町四反三畝九歩其内秋蒔ニ屬スルモノハ小麦ニ於テ「白皮白」「ウエルウエトチャフ」ノ二種「ライ麦」ニ於テハ「秋蒔」(原名不詳)ノ一種アルノミニシテ其他ハ皆ナ春蒔ニ屬ス秋蒔ハ前陳ノ氣候ニ感觸少ナク生育稍ヤ其常ヲ得タルヲ以テ収量ハ平年ニ異ナルナシ殊ニ「ライ麦」ハ平年ニ見サル所ノ豊成ナリ蓋シ寒土ニ適スルノ微証ナリト信ス又タ「デユール、ド、メデア」及ヒ「ウエルウエト、チャフ」ノ二種ハ前種ハ春蒔後種ハ秋蒔ナリト雖トモ晩熟ナルヲ以テ八月ノ降雨ニ遭遇シ為メ

ニ發芽シ収量ヲ減シタリ裸麦、燕麦モ亦同ジ

玉蜀黍、大豆、蕎麦、ノ三種ハ九町三反五畝ニシテ玉蜀黍、大豆ノ二種ハ七月初旬ニ至ル迄生育甚タ遅緩ナリシト雖トモ七八ノ兩月間ニ於テ大ニ恢復シ以テ尋常ノ收穫ヲ得タリ蕎麦ハ亜麻害虫生ノ害ニ罹リシト雖トモ當時稍々成熟シタルカ故刈採シテ以テ此害ヲ免カル、ヲ得タリ

根菜類ハ馬鈴薯、甜菜、苳菜、胡蘿蔔、燕薯、ノ五種ナリ而シテ甜菜、苳菜、胡蘿蔔、ノ三種ハ六月中旬ヨリ「地蚕」ノ害ニ罹リ大ニ其害ヲ被レリ就中甜菜、苳菜、ノ二種ハ最モ甚シトス又タ馬鈴薯ハ亜麻害虫ノ襲フ所トナリ侵害セラレシト雖トモ其害甚シカラス甜菜ハ亜麻害虫再生シ侵蝕セラレ殆ント其葉ヲ見ル能ハサルニ至レリ斯ノ如ク前後二回ノ虫害ヲ被リシヲ以テ其収量殆ント十分ノ一二達セス

南瓜ノ耕作反別ハ八畝歩ニシテ其収量ハ僅ニ一千七百餘斤ナリ故ニ平常ノ収量ニ比スレハ三分ノ一ニ過キス蓋シ氣候寒冷ナリシカ為メ結果ノ期後レシニ基因ス

藍ハ移植後「地蚕」ノ害ヲ被リシト雖トモ驅除其効ヲ奏シタルヲ以テ損害甚タ寡ナシ

大麻、亜麻、ノ耕作反別ハ七反歩ニシテ纖維ヲ採取スルノ目的ナリシト雖トモ七月上旬一種ノ害虫發生シテ大ニ之レヲ害シ為メニ

織維ヲ採取スルニ適セサルニ至ル故ニ僅々種実ヲ採取セシ止マ
ル

牧草ハ宿根牧草ニシテ其反別拾七町七反余トス而シテ本年ハ牧草
ノ最モ發育スルノ期氣候寒冷且ツ降雨少ナキヲ以テ其収量ニ至リ
テハ殆ント平年ノ三分ノ一ヲ減少セリ

果樹類ハ林檎、桜、梨、李、杏、桃、葡萄、カーレンツ、グース
ペリー、ラースペリー、ブラツクペリー、等ニシテ其栽植反別ハ
老町五反余トス而シテ移植年尚ホ浅キヲ以テ結実スルモノ殊ニ寡
ナシ本年結実セシモノハ林檎、梨、桜、及ヒ「グースペリー」
「カーレンツ」等ノ數種ニ過キス然レトモ林檎、梨、李、ノ三種
ハ成熟前暴風ノ為メ悉ク墜落シタリ

〔イマ〕

第五 家畜 牛馬羊豚ノ四種ニシテ皆ナ学生々徒ノ授業ニ供スルモ
ノナリ其増減ノ概略ハ別表ニアリ

第五 家禽 鶏、吐綬鶏、鶩ノ三種ニシテ其目的ハ第四家禽ニ同ジ
而シテ鶩ハ生徒授業用トシテ本年五月北海道庁内務部ヨリ譲与ヲ
受ケタルモノナリ

以上ノ耕作物及ヒ家畜禽ハ本校学生ノ試験及ヒ農芸伝習科生徒ノ実
習ニ係ルモノナリ而シテ別ニ武町五畝四歩ノ耕作地ヲ割テ伝習科生
徒ノ試作地トナシ内外ノ穀蔬菜蔬ヲ蒐集シテ以テ栽培ノ方法ヲ講明
シ生徒ヲシテ実地耕作ニ従事セシム

耕作反別及ヒ收穫表

種 類	号 名	播種反別	收穫高	沓反歩ニ付
大 麦	独逸	沓反貳畝	沓石沓斗	九斗沓升 七合弱
	白皮白	老町五反六畝 九歩	拾七石	沓石八升 七合強
小 麦	ウエルウエ ト、チャフ ド、メデル、 ヂュール、	沓反	六斗五升	—
	秋蒔 号名不詳	沓反五畝	七斗三升 五合	四斗九升
ライ 麦	春蒔	三反	五石沓斗 六升	沓石七斗 二升
裸 麦	青実 オルリレエ ス、ホールス	沓反	五斗二升	—
燕 麦	和種	拾町	百四十石五斗 五合	沓石四升
蕎 麦	赤莢 八行黃色	三反	三石六斗	沓石貳斗
玉 蜀 黍	赤莢	九町	百八十一石	沓石沓升強
大 豆	アーレーロー ス	五畝	五斗五升	沓石沓斗
馬 鈴 薯	スノーフレー ク	九反	貳万五千 四百五十斤	二千八百 二十八斤弱
同	ク	八反	貳万三千 九百斤	二千九百八 十七斤五分
甜 菜	独逸	七反	六千六百 五十斤	九百五十斤
葱 菜	エローグロ ー	五反	沓万六千斤	三千貳百斤
胡 蘿 蔔	ダンパース	三反五畝	貳万斤	五千七百 十四斤強

種別	家畜増減表		合計	生徒試作地	放牧牧草地 同	牧草 外國種	果樹類 和洋各種	亞麻 魯國種	大麻 仏國種	藍 小千本	南 瓜 ハッパード	燕 青 白
	牝 一日現在	牝 廿四年一月										
牧牛	一三	四	增	二	八畝	二反五畝	老万一千八百斤	四十七百二十斤	二反五畝	八畝	二反五畝	二反五畝
牧馬	一五	四	牝	二	八畝	二反五畝	老万一千八百斤	四十七百二十斤	二反五畝	八畝	二反五畝	二反五畝
豚	二〇	一六	牝	二	八畝	二反五畝	老万一千八百斤	四十七百二十斤	二反五畝	八畝	二反五畝	二反五畝
綿羊	三七	一三	牝	二	八畝	二反五畝	老万一千八百斤	四十七百二十斤	二反五畝	八畝	二反五畝	二反五畝
計		廿四年十二月 廿一年現在	廿四年一月	二	八畝	二反五畝	老万一千八百斤	四十七百二十斤	二反五畝	八畝	二反五畝	二反五畝

種別	果樹類現在表	廿四年前植付ノ数	廿四年植付高	計
林檎	一三〇本	六二本	一九二本	四八
梨	七二	六	七八	七八
桜	三九	九	四八	四八

果樹類現在表

種別	合計	鶯	吐綬 鶯	雞	種別
廿四年一月 一日現在	一三	一	二	二	增
增	四二	三二	四	六	減
減	一六	六	一	九	廿四年十二月 三十一日現在
計	三九	二六	五	八	

家禽増減表

合計	乘馬	耕馬	耕牛	護羊犬
八七	一	一	一	二
一四四	五七	四	一	五
二五	一	一	一	一
四一	一六	一	一	一
六一	一	一	五	二
八八	二七	一	四	一
五六	一	一	一	一
九七	四一	四	七	一

合	杏	李	桃	葡萄	ラースペリー	ブラツクペリー	グースペリー	カーランツ
計	二	二	一七	四九	四二	三六	一三	八九
四九一								
七七								
五六八	二	二	一七	四九	四二	三六	一三	八九

第六 試験及調査 本年度中本園ニ於テ試験及ヒ調査ヲ遂ケタル重ナル事件ハ乳牛飼養試験、林檎害虫綿虫駆除法、燕麦ノ「麦奴」予防ニ関スル試験、小麦ノ「バンド」病予防ニ関スル試験、亜麻害虫調査等ナリ是等ハ皆ナ試験及調査結了ノ際既ニ報告ヲ了シタルヲ以テ略ス又タ「埋蔵飼料」ノ試験中ナリト雖トモ未タ結了セサルニヨリ更ニ報告スヘシ

夕張学田地

面積 前年度ニ於テ四百余万坪ト報告シタルハ當時実測ヲ了セサルニヨリ大略ヲ掲ケシノミ本年度ニ於テ測定シタル面積ハ未墾地一

千三百五町六反七畝二十二歩墾成地拾四町三反八畝廿八歩トス而シテ耕作物ノ概況ヲ挙クレハ赤皮小麦ノ収量ヲ減シタルハ主トシテ其耕作地ハ湿地ニ属シタルヲ以テ雪中ニテ腐敗（北海道ニ於テハ秋蒔小麦ノ雪中ニテ腐敗スルハ往々ニシテ方今ニ至リ稍ヤ薄ラキタルカ如シト雖トモ湿地ニ於テハ未タ免カレ難シ）シ生存セルモノ稀薄ナルカ為メナリ蓋シ新開ノ地ナルカ故ニ排水便完全ナラサルニ基ス白皮小麦ハ稍ヤ高燥ニ属シタルカ故完全ノ結果ヲ得タリ以テ之レヲ証スルニ足ル燕麦ハ収納ノ際降雨夥多ナルカ為メ玉蜀黍、蘿蔔ハ野鼠ノ害ニ罹リ収量ヲ減シタルナリ即チ其耕作分別及収量ハ別表ノ如シ

家畜及家禽 家畜ハ牧馬拾七頭（牝馬拾頭）牝牛七頭豚六頭（牝五頭）耕牛五頭耕馬貳頭家禽ハ鶏三羽而シテ本年中斃死ニ係ルモノハ牝馬壹頭鶏壹羽ニシテ其他ハ異状ナシ但シ耕牛耕馬ヲ除ノ外ハ総テ本年所屬農園ヨリ送致セシモノナリ

耕作分別及收穫表

種類	号名	播種反別	收穫高	耨反歩ニ付
小	赤皮	四町九反五歩	式十石九斗	四斗二升七合
	白皮	四反三畝	五升五合	五斗強
麥	赤皮	四町九反五歩	式十石九斗	四斗二升七合
	白皮	四反三畝	五升五合	五斗強
白皮	赤皮	四町九反五歩	式十石九斗	四斗二升七合
	白皮	四反三畝	五升五合	五斗強
赤皮	赤皮	四町九反五歩	式十石九斗	四斗二升七合
	白皮	四反三畝	五升五合	五斗強
四反三畝	赤皮	四町九反五歩	式十石九斗	四斗二升七合
	白皮	四反三畝	五升五合	五斗強
六石四斗二升	赤皮	四町九反五歩	式十石九斗	四斗二升七合
	白皮	四反三畝	五升五合	五斗強
耨石四斗九升	赤皮	四町九反五歩	式十石九斗	四斗二升七合
	白皮	四反三畝	五升五合	五斗強
三合強	赤皮	四町九反五歩	式十石九斗	四斗二升七合
	白皮	四反三畝	五升五合	五斗強

燕 麥	オルリレエ スホール ルス	貳町五反	三十六石八斗	老石四斗七升
同青刈 但シ乾草用	同	老町	五升	四合
玉蜀黍	八行黄色	五町三反四畝 五歩	老万斤	老千斤
馬鈴薯	アールレー、 ロース	三反八畝 二十歩	老万三千 五十斤	六斗八升二合
蕎麥	レット、グ ローブ	老反	六千三百 三十六斤	貳千六百 七十七斤弱
蘿蔔	練馬	六畝	二千四百 二十斤	四千三十三斤
胡蘿蔔	ダンパース	五畝	未收穫	強
牧草	外国種混播	四反二畝 廿八歩	本年播種ニ係 ルヲ以テ收穫 ナシ	
合 計		十四町三反 八畝廿八歩	—	—

植物園及標品室

⑨(富部)

本年度ニ於テハ園内ノ地積測量ヲ完了シ更ニ數個ノ花壇ヲ増設シ前
年中蒐集シタル樹木類ヲ園内ニ栽植シ并ニ自然分科園ニ少ナカラザ
ル増殖變更ヲ遂ゲタリ

園内培養ノ為メ札幌近傍ニ於テ採集シタル草木類ハ十九種又上川方
面ニ於テ採集シタルモノ二種ナリ

播種及内外植物園ト交換ノ為メ採集シタル本道自然生植物ノ種子百

九十九種其量大凡八百匁ナリ

園内ニ於テ採収シタル西洋草花ノ種子百〇一種其量四百三十五匁ナ
リ

本年中北米カナダ・モントリール・マクギル大学植物園ヨリ送附ニ
係ハル草木種子三十種又ハーバード大学所属樹木園ヨリ樹木種子三
十三種又タ独逸国チューセン樹木園ヨリ樹木種子七十九種ヲ得タリ
本年中ニ於テ増加シタル植物標品ニシテ本校職員ノ石狩国上川方面
ニ於テ採集シタルモノ四百九十七品又札幌近傍ニ於テ採集シタルモ
ノ四百九十三品寄贈ニ係ハルモノ千百七十九品ナリ

*

書籍館

博物場

本年末博物場現在標本ハ八千八百八十三個ニシテ内本年度ニ於テ増
加セシハ本校採集ニ係ルモノ八拾老個寄贈ニ係ルモノ拾貳個購入セ
シモノ拾個ナリ其開館日數ハ六拾貳日ニシテ來觀人員貳万五千五百
九拾七人ナリ之ヲ平均スレバ壹日四百拾貳人余ニシテ昨年度ニ比ス
レバ毎一日七拾六人余ノ増加ナリ

右報告候也

明治廿五年一月廿二日

技手村田莊次郎⑨

〔朱書〕
* 未タ調査中ニ付追テ伺出之見込ニ有之候^①（るのう）

〔農五八五〕

七九九 札幌農学校に特別會計法適用に付佐藤校長心得意見

書草稿

札幌農学校ニ特別會計法ヲ施行スルノ議

北海道ハ地広ク人鮮ナシ乃チ国利ヲ興シ民福ヲ増サント欲セハ殖民興農ヲ以テ最大要務トナサ、ルヘカラサルハ今更喋々ヲ要セサル所ナリ故ニ当初札幌農学校ノ設立アルヤ本道ノ拓殖事業ヲ進捗センカ爲メ専ラ農業ニ関スル學術技芸ヲ教授シ以テ殖民地ニ適任ナル人材ヲ養成スルを以テ目的トナセリ爾來監督官庁ノ存廢ト共ニ幾多の變遷を経テ今日ニ至レリ然而今ヤ拓殖ノ機運漸ク熟シ戸口月ニ増シ土地年ニ拓ケントス此時ニ當リ道庁ハ學術技芸ニ練達セル人材ヲシテ親シク拓殖ノ衝ニ當ラシメ以テ民望ニ副ふ所ナカラサルベカラス惟ニ殖民地ノ官衙ニ於テ普通の行政事務ノ如キハ務メテ繁ヲ去リ簡ニ就キ或ハ移民ニ或ハ農商ニ或ハ山林ニ或ハ地理ニ或ハ水産ニ或ハ土木ニ特ニ殖民地ニ緊要ナル事業ヲ擴張シ専ラ富源ノ涵養実利の開発を以テ施政ノ要務トナスヘキモノナリ且ツ又本邦農業の改良ハ夙トニ世人ノ喋々セル所ナリト雖トモ欧米日進の農業法ヲ実地ニ施行シ大ニ農業ヲ振作スルの地ハ蓋シ本道ヲ措テ他アラサルベシ故ニ

彼我ノ農業法ヲ折衷シ本道ニ適切ナル農業の組織を建設シ技芸經濟兩ツナカラ其模範ヲ移住民ニ示スハ又タ今日ノ急務ナリトス然ラハ則チ或ハ官庁ニ在リテ敏捷活潑拓殖ノ事務ニ執掌シ或ハ民間ニ在リテ実業ニ従事シ誘掖提挈ノ責ニ任スル人ヲ得サルベカラス然リト雖トモ人材遽カニ得易カラス固ヨリ養成要素アルニ非スンハ其用をナサス教育の制度急ニ之を起スコト能ハス必ス之ニ反スニ年月ヲ以テセサルヘカラス是ヲ以テ欧米ノ先進國ニ於テハ勞資ヲ惜マシテ教育の進捗ヲ謀リテ止マス是レ欧米今日ノ富強文化ヲ來セル所以ナリ我政府幸ニ札幌農学校ヲ本道ニ設ケ本道ノ拓殖事業ニ適切ナル農工実用ノ教育ヲ授ク実ニ本道人民ノ幸福ト云ツベシ蓋シ此等ノ実用的教育ハ單純ノ學理的教育ト異ナリ地方の風土、形勢、氣候、人情、習慣の如キモノト密接ノ關係ヲ有スルを以テ該校を本道ニ設置スルハ固ヨリ偶然の事ニ非ス実ニ札幌農学校ハ拓地殖民上實際の必要ヨリ起レルモノナリ苟モ北海道の農業を振作シ大ニ國利民福ヲ増サント欲セハ農学校ハ一日モ無カルベカラス農理農芸日進の時世ニ當リ旧習ヲ株守シ學術ヲ利用セサルハ決シテ策の得タルものニアラス蓋シ將來本道拓地殖民ノ鴻業既ニ成ルノ日ニ於テモ該校の必要ハ決シテ止ムコトナク却テ益々其必要ヲ感スルニ至ルベシ元來教育ノ制度ナルものハ年月ヲ経ルニ從ツテ其完全ヲ見ルものニテ其効蹟の顯著ナル殊ニ永遠的ノ教育制度ニ於テ然リトナス伊國のボロナ大学英國ノ

ヲクスホルト大学ノ如キ其適例ナリ夫レ然リ本道他日荆棘荒蕪ノ原野も変シテ沃饒無比ノ耕地トナリ一望漢々無人ノ境土も化シテ鷄鳴相繼ギ炊煙相接スルノ町村トナルニ当リテ或ハ農芸製作ヲ進捗シテ殖産興業の振作奨励を謀リ或ハ道路河川を開通シテ行路運輸ノ発達擴張を務ムルモノハ蓋シ多クハ北海道ニ於テ親シク実業ノ教育ヲ受ケシモノヨリ出ルハ必然ナリ而シテ益実業ノ教育ヲ隆興シ以テ英才ヲ薰陶シ農事改良工業振作ノ本源ヲ涵養スルノ責ニ当ルモノハ即チ札幌農学校ナルベシ故ニ本道拓殖事業ノ進歩ト我國文物制度ノ改良ニ伴ヒ此学校ニシテ益安全鞏固ノ地位ニ置キ文化ノ先驅トナリテ驛々止マス其負ふ所の重任ヲ全ふセシムルコトを務メサルベカラス然而学校ニ要スル所のモノハ經費ナリ經費給セシムハ何ヲ以テ学事ノ振興ヲ期スルヲ得んヤ本校ノ經費ハ尽トク之ヲ国庫ニ仰キテ支弁スルコト他ノ行政官庁ト異ナラス是ヲ以テ時ニ經費之不給アリテ学事ノ進歩上遺憾ナルコト尠シトセス元来学事ト行政トハ其趣ヲ異ニシ随ツテ經費も別途ニ出ルを以て至当ナリトス欧米諸国ニ於テハ学校ノ經費ヲ全ク国庫ヨリ支出スルモノ甚タ稀レナリ多クハ基本財産ヲ有シ其收入ヲ以テ經費ヲ支弁シ永遠維持ノ方法鞏固ナルを以テ仮令一朝国庫ノ空乏ヲ告グルモ其影響ニ依リテ学事ノ衰頹ヲ来スノ憂ナク基礎確立時世ノ風潮ニヨラスシテ超然独立ノ針路ヲ進行ス故ニ學術ノ蘊奥ヲ極ハメ実利ノ普及ヲ謀ルニ於テ其活動ノ範圍廣大ニシ

テ且ツ自由ナルヲ覺ニルナリ我政府明治廿三年法律第式十六号ヲ以テ官立学校及圖書館會計法ヲ制定セラレ逐次学校資金増殖ノ方法ヲ設ケラル本邦教育ノ進歩上寔トニ賀スヘキ事ナリトス

雖然該法律タルヤ独リ之ヲ文部省直轄学校ニノミ適用スベキモノニシテ札幌農学校の如キハ依然普通會計法ノ制裁ヲ受ク故ニ基本財産を準備シ以テ經濟の独立ヲ図ルコト能ハス寔トニ遺憾ナリトス蓋シ学校ノ基本財産ナルものハ専ラ政府の補助又ハ慈善者ノ義捐ニ依ラサルを得ス其普通ノ收入（授業料授験料ノ如キ）ハ敢テ多額を占ムルモノニアラス且下我國ノ形勢國貨多端ナルを以テ年々其基本財産ニ對スル補助金ノ交付を望ム能ハサルベシト雖トモ例本年ノ如キ国庫ノ歲計ニ余剩ヲ生スル場合ニ於テハ国立ノ教育制度タル本校ノ如キニ於テハ其幾分ノ交付ヲ要求スルハ敢テ不当ノ事ニアラサルベシ且ツ又タ本校ノ如キハ之ヲ他ノ官立学校ニ比スルトキハ經濟の独立を謀ルハ至難ノ事ニ非ス蓋シ其境遇稍米國ノ州立大学又ハ農学校ト相似タルモノアルナリ米國西方諸州ニ於ケル数多ノ州立大学ハ土地を以テ基本財産トナシ以テ其維持ヲ立テ又タ同國数十ノ高等農学校ハ其創立を中央政府ノ土地ノ交付ニ基因セルモノナリ独リ高等教育ノミナラス普通教育ニ於テモ然リトナス西方ノ殖民地ニ於テハ一村（其面積三十六平方哩）毎トニ式箇ノ小区画（一区画ハ一村ノ三十六分ノ一ニシテ其面積凡式百五十六町步）ヲ以テ学田地トナシ移民

ニ貸下ヲ許サス是ヲ以テ新移ノ人民ハ学校ノ為の課税ヲ免レ其子弟ハ自由教育ノ徳沢ニ浴ス米國ノ殖民地教育ノ隆盛実ニ爰ニ基因ス札幌農学校ノ如キも特別會計法ニヨリ基本財産ヲ設備スルを得ハ目下附屬ノ学田地及農場ノ如キハ之ヲ經濟上ニ活用スルノ途ナキニ非ス且ツ本道山林原野ノ廣大ナル假令年々移民ノ増加スルコトアルモ尚ホ数万坪ノ土地ヲ学田地トシテ之ヲ本校ノ基本財産ニ編入シ専ラ土地ニヨリテ經濟ノ独立ヲ企圖セシムルハ國家百年ノ長計ヨリ觀察スルトキハ実ニ得策ト云ツベシ如フルニ明治廿三年中道庁ニ於テ札幌農学校同窓会江_レ下セル土地財産ハ本校ニ於テ經濟獨立ノ基礎確立スルトキハ速カニ之ヲ本校ニ差出シ以テ本校ノ基本財産ニ編入ヲ請ふノ議ヲ確定セリト聞ク實ニ特別會計法ヲ本校ニ施行シ且ツ此際國庫ノ剩余金幾分ヲ仰テ其基金トナシ併セテ同窓会ノ寄付ヲ容レ以テ本校前途ノ大計ヲ立ルハ目下本校ノ大急務ナリトス仰キ願ハクハ速ニ政府ノ允裁ト帝國議會ノ協賛ヲ得テ該法ヲ實施せんコト切望ノ至ニ堪ヘス果シテ該法ヲ實施シ經濟ノ獨立ヲ得ルトキハ他年地拓ケ民多ク益教育制度ノ擴張ヲ要スルニ至リ農学校ノ利用單ニ農学校タルニ止マラサルベシ

閣下請ふ諒察ヲ垂レヨ

〔注〕 末尾に「廿五年渡辺千秋氏長官タリシトキノ草稿」

との記事あり。

〔佐藤昌彦氏藏〕